



「新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減」 に向けた緊急申し入れを行う！

昨年から蔓延している新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナという)は、変異株の発生によって社内でも感染が拡大しています。

労使でも感染リスクを軽減して、業務を安心して行えるように意見交換をしながら進めていますが、職場では疑問に思えることも多く報告されています。特に2021年9月1日付の人事異動は、職場で事前通知書が渡されていますが、緊急事態宣言が発出されている最中で、接触リスクが増える異動に対しての不満や柔軟に時期をずらすことが出来ない会社の対応に、疑問の声が地本に寄せられています。人事異動は人材育成も兼ねていることは、これまでも議論してきて理解はしています。

しかし、感染リスクがこれまで以上に高くなっている時期の異動の実施や、異動の対象者にキャリアプランを示してモチベーションを上げる努力をしているのかも職場からの声を聞けば、地本としても疑問に思わざるを得ません。

また、新型コロナの感染リスクがこれまで以上に高まっている中で、妊娠・育児・介護などを抱える組合員や社員への対応が、職場によって違いがあり、不満の声も出ています。特に出産を控えている方々は、コロナ禍での出産に通常よりも不安を抱えています。

地本は、感染リスクを軽減して安心して仕事ができる環境は、命を守るためには非常に重要と考えています。その環境を直ちに整えるために、下記の通り申し入れました。

《要求項目》

1. 2021年9月1日の人事異動については、新型コロナの感染リスクが高いため、最低でも緊急事態宣言が解除されるまで延期すること。また、これまでも感染リスクのある人事異動に対して不安の声が多いことから、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」期間中の人事異動については、延期などを検討すること。
2. 妊娠をしている組合員や社員の出勤については、原則自宅待機となるように配慮すること。

組合員や社員の命を守るため、緊急事態宣言下での感染リスクが増える人事異動の延期と、新しく誕生する命にも最大限配慮することをみんなで訴えよう！